

日本超音波医学会のあゆみ

1961年	10月21日	電気関係学会関西支部連合大会（京都）においてシンポジウム「最近における超音波の医学的応用」（座長：加藤金正）が行われた。これを機会に青柳健次、加藤金正、武田義章、吉岡勝哉、吉田常雄の諸氏を世話人とした研究者有志の懇談会が27名の参加を得て開催され、超音波医学研究会（連絡係：岡益尚、和賀井敏夫）が発足した。
1962年	4月1日	会員名簿発行、会員209名
	5月14日	第1回超音波医学研究会（於：順天堂大学医学部講堂）を開催。演題総数29題、特別講演：実吉純一、抄録集発行。 以降毎年春秋2回の研究発表会開催が定められた。
1963年	5月10日	第3回研究発表の際に会則案作成を決める。この回より英文proceedingsとして「Japanese Medical Ultrasonics」が発行された。
	11月16日	第4回研究発表会の際に超音波医学研究会会則を決定した。 初代会長に菊池喜充（東北大学電気通信研究所）、副会長に金子二郎（大阪大学医学部）の両氏が選出され、評議員の委嘱が行われた。
1964年	5月21日	会則による第1回総会が開催される。超音波医学研究会に菊池会長、金子副会長が就任、事務局を順天堂大学医学部第一外科教室内に置く。
1965年	5月17日	第2回総会において超音波医学研究会を日本超音波医学会と改称することが決定した。
	11月26日	第8回研究発表会に際し日本超音波医学会設立記念大会を開催する。 日本超音波医学会会則（全15条）を決定した。 日本超音波医学会（英文名：The Japan Society of Ultrasonics in Medicine）は超音波の医学・生物学的応用に関する学術・技術の研究と実用化の進歩発展を図り、かつこれらの知識の交流、普及を目的とすることが謳われた。
1966年	10月1日	日本超音波医学会編「超音波医学－基礎から臨床まで」（編集委員長：菊池喜充）が医学書院（東京）より出版される。
	10月27日	「Japanese Medical ultrasonics」をVol.4No.1～2より「Medical Ultrasonics」と改題し、日本超音波医学会英文機関誌とした。
1968年	10月23日	第1回超音波診断講習会（盛岡市）が開催される。
1969年	5月	超音波診断入門、1969年版を発行した。
	6月	第1回 World Congress on Ultrasonics in Medicineが行われた。
1971年	5月23日	産科超音波診断法入門講座が発行された。
	11月25日	学会創立10周年記念大会を第20回研究発表会を開催した。

1973年	6月4日	World Federation of Ultrasonics in Medicine and Biology (WFUMB) が発足し、日本超音波医学会はこれに団体加盟した。 WFUMB の President Elect に菊池喜充氏が、Secretary General に和賀井敏夫氏が選出された。
	11月	発表論文の英文抄録がEFUMB 機関誌に掲載されることになり、日本超音波医学会英文機関誌「Medical Ultrasonics」はVol.11, No.1, 1973をもって発展的に廃刊として、その機能をWFUMB 機関誌「Ultrasound in Medicine and Biology」に移行することとなった。
1974年	3月	医用超音波用語(1974)を第25回研究発表会講演論文集に掲載した。
	6月3日	第10回総会において青柳健次、加藤金正、菊池喜充、田中憲二、吉田常雄の諸氏の5氏を名誉会員に推挙された。
	-	第26回研究発表会講演論文集「Medical Ultrasonics」を最後に廃刊された。
	12月25日	和文機関誌「超音波医学」第1巻1号を発行した。
1976年		WFUMB 1976がサンフランシスコ(アメリカ)で開催された。
1981年	11月14日	第39回研究発表会にて本学会創立20周年記念学術集会を開催した。
1982年	5月22日	学会20周年記念事業を開催した。
	10月	日本学術会議学・協会への登録が認定された。
	10月30日	第1回乳癌研究部会が開催された。
1983年	4月22日	第1回組織の音響特性と定量検査に関する研究部会が開催された。
	5月25日	第1回周産期超音波研究部会が開催された。
1984年	7月21日	第1回乳腺研究部会が開催された。
	12月1日	第1回血流計測研究部会が開催された。
1985年	1月12日	第1回膀胱癌研究部会が開催された。
	6月8日	第1回超音波検査士認定試験が実施された。
	7月24日 ～24日	第1回インドネシア超音波医学会が開催された。
	9月5日 ～7日	第1回アジア・太平洋・ドブラ・心エコー図カンファレンスが開催された。
	9月14日	第1回基礎技術研究部会が開催された。
	12月15日	第1回超音波検査士として59名を認定した。
1986年	5月	第1回日本超音波医学会賞を学会誌掲載論文の優秀論文2題に授与した(論文賞)。 創立25周年記念事業の一環として永年にわたり本会の向上発展に多大な貢献をされた有賀槐三、岩井喜典、大内淳義、北村和夫、能本乙彦の諸氏の5名にその功績をたたえて功労賞を授与した。
1987年	6月15日	社団法人日本超音波医学会の設立が文部省より認可された。
	6月23日	日本医学会への加盟が認可された。
	6月24日 ～26日	AFSUMB 1987(東京)が大会長和賀井敏夫氏で開催された。
	12月1日 ～3日	日本超音波医学会訪中団として中華医学会超音波連合学術大会へ派遣した。

1988 年		会員数が1万人を突破
	4 月 23 日	第1回超音波Doppler法研究部会が開催された。
1990 年	7 月 14 日	第1回エコー・ドプラ法の新しい臨床応用研究部会が開催された。
	9 月 29 日	第1回頸部超音波診断研究部会が開催された。
	10 月 1 日	第1回超音波専門医認定審査が行われ、専門医として533名を認定した。
	10 月 30 日	第1回専門医セミナーが開催された。
	12 月 1 日	第1回超音波指導医委嘱審査が行われ、指導医として208名を委嘱した。
1991 年	2 月 23 日	第1回関西地方会学術集会在開催され83演題420名の参加があった。
	3 月 27 日	第1回東北地方会学術集会在開催され21演題100名の参加があった。
	4 月 1 日	第1回超音波専門医研究施設として、153施設を指定した。
	4 月 4 日	第1回九州地方会学術集会在開催され54演題380名の参加があった。
	6 月 25 日	日本医学会分科会への加盟が認可された。
	6 月 30 日	第1回中部地方会学術集会在開催され59演題270名の参加があった。
	7 月 13 日	第1回北海道地方会学術集会在開催され30演題150名の参加があった。
	7 月 20 日	第1回超音波内視鏡研究部会が開催された。
	7 月 26 日	第1回腹部超音波ドプラ研究部会が開催された。
	8 月 11 日	第1回超音波専門医認定試験が実施され117名が合格した。
1992 年		国際交流 (JSUM Fellowship) が始まり台湾・インドネシアの2カ国より研修生2名の研修を実施した
	2 月 1 日	第1回関東甲信越方会学術集会在開催され70演題210名の参加があった。
	2 月 14 日	第1回中国地方会学術集会在開催され6演題100名の参加があった。
	3 月 7 日	第1回四国地方会学術集会在開催され43演題168名の参加があった。
	5 月 19 日	創立30周年記念行事を開催した。
	9 月 19 日	第1回循環器超音波応用研究部会が開催された。
1993 年	7 月 10 日	第1回腹部臓器の血行動態に関する研究部会が開催された。
	7 月 22 日	第1回超音波生体作用研究部会が開催された。
	6 月 12 日	第1回細径超音波プローブ研究部会が開催された。
1994 年	6 月 11 日	第1回超音波による乳腺甲状腺の治療効果判定に関する研究部会が開催された。
1995 年	7 月 1 日	第1回超音波障害防止研究部会が開催された。
1996 年	2 月 18 日	学会ホームページが開設された。
	6 月 6 日	総会において井出正男、犬上慶治、金子敏郎、堤 裕、町井 潔、渥美和彦、大内達男、奥島基良、山本由記雄、横井 浩、竹原靖明、福田守道、前田一雄、清水哲也、関場 香、森 博愛、伊藤健一、尾上守夫、大藤正雄の諸氏の19氏を功労会員に推挙された。
	6 月 8 日	第1回体表臓器における超音波所見の定量的評価に関する研究部会
	6 月 28 日	第1回超音波とマイクロバブルに関する研究部会が開催された。
1997 年	1 月 15 日	学会誌の名称を「Japanese Journal of Medical Ultrasonics」から「Journal of Medical Ultrasonics」に変更した。
	6 月 21 日	第1回管腔内超音波検査法の新たな臨床応用に関する研究部会が開催された。
	6 月 25 日	第1回胎児診断評価の標準化研究部会が開催された。

1998年	5月10日	第71回学術集会が、5月10日(日)、11日(月)、12日(火)の3日間、開催された。研究発表会から学術集会へ改称し、年2回開催から年1回開催となった。
	5月11日	第1回特別学会賞を滑川孝六、仁村泰治の諸氏の2名に授与した 会長制を廃止して、理事長制に改め、これに伴い副会長も副理事長として各々役務を所掌して2名とすることとした。
1999年	7月1日	第1回超音波工学フェロー認定審査が行われ、工学フェローとして80名を認定した。
2000年	5月28日	第1回奨励賞の選考を行い、6名を授賞した。
2001年	1月15日	学会誌「超音波医学」(和文誌)6冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)4冊、計10冊を発行することとなった。
	5月19日	日本超音波医学会創立40周年記念事業を本会が主催して「第75回学術集会」会期中に実施された。
	5月20日	第1回技術賞の選考を行い、3件を授賞した。
	9月1日	第1回超音波治療技術研究会が開催された。
2002年		超音波診断法講習会が廃止され、地方会講習会を地方会学術集会に併催することになった。
	6月2日	第1回松尾賞を別府慎太郎、椎名 毅の諸氏の2名に授与した
2003年	6月28日	第1回超音波薬物遺伝子導入研究会が開催された。
	7月13日	第1回カラー Doppler フラントム研究会が開催された。
	11月22日	第1回血管超音波研究会が開催された。
2005年	9月17日	第1回ソノポレーション研究会が開催された。
2006年	5月27日	第1回伊東賞の選考を行い、2件を授賞した。
2007年	8月26日	超音波診断講習会(乳腺)が開催された。
2008年	2月23日	超音波医学フォーラムを都市センターホテルで開催された。
2012年	5月25日	日本超音波医学会創立50周年記念事業を本会が主催して「第85回学術集会」会期中に実施された。